

三次市では、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により地域住民は、日々爆音や事故等の恐怖や不安に悩まされている。

このため、市として市民の不安解消と安全を確保する立場から、低空飛行訓練の中止をこれまでも再三、要請してきた。

本年4月以降も米軍機によるとみられる低空飛行の目撃情報が市へ寄せられ、その目撃件数や飛行回数は以前と比較して増加傾向にある。

寄せられた目撃情報の中には、学校上空での低空飛行も確認されるなど、平成11年1月14日の日米合同委員会における「住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払う」とされる合意内容が遵守されないことに、憤りを覚えるとともに、市民の安心安全な生活を守る責任を担う市としては、この状況を看過することは出来ない。

低空飛行訓練の中止要請は本市のみならず広島県や中国地方知事会、さらには全国知事会など他の関係機関も行っている。これらの要請を重く受け止めるべきである。

閣下におかれましては、日々繰り返される米軍機の低空飛行訓練によって激しい騒音被害や事故発生危険性の増大など市民の平穏な生活が脅かされているという現実を改めて認識の上、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう強く要請する。

2013年5月22日

アメリカ合衆国
駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 閣下

日本国 広島県三次市長 増田和俊

三次市では、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により地域住民は、日々爆音や事故等の恐怖や不安に悩まされている。

このため、市として市民の不安解消と安全を確保する立場から、低空飛行訓練の中止をこれまでも再三、要請してきた。

本年4月以降も米軍機によるとみられる低空飛行の目撃情報が市へ寄せられ、その目撃件数や飛行回数は以前と比較して増加傾向にある。

寄せられた目撃情報の中には、学校上空での低空飛行も確認されるなど、平成11年1月14日の日米合同委員会における「住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払う」とされる合意内容が遵守されないことに、憤りを覚えるとともに、市民の安心安全な生活を守る責任を担う市としては、この状況を看過することは出来ない。

低空飛行訓練の中止要請は本市のみならず広島県や中国地方知事会、さらには全国知事会など他の関係機関も行っている。これらの要請を重く受け止めるべきである。

司令官様におかれましては、日々繰り返される米軍機の低空飛行訓練によって激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民の平穏な生活が脅かされているという現実を改めて認識の上、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう強く要請する。

2013年5月22日

米海兵隊

岩国航空基地司令官 ジェームズ・C・スチュワート大佐 様

日本国 広島県三次市長 増田和俊